# 令和7年度　自己評価

学校法人　宝仙学園
宝仙学園幼稚園

## 1，園の教育目標

**・しっかりと考える力を育てる**

なぜ？どうして？という好奇心を抱き、そこから試行錯誤してわかる喜びや楽しさを生み出します。集団の中でどのように楽しく生活するかを考えます。

**・感性を表現する力を育てる**

集団生活の中で、自分が感じたものや考えたことを、素直に自信をもって表現する力を育てます。豊かな感性は、思いやりの心と知的好奇心を育みます。

**・人や文化と関わる力を育てる**

自分の考えをもちながら相手の考えも受け入れて　関わりを楽しむことはとても大切です。
責任感を育て、世界への関心を高めるきっかけをつくります。

## 2，本年度に定めた重点的に取り組む目標

豊かな人を育てるための教育「感応の心」「生きる力」を育む指導を常に考え本園独自の「教育課程」をもとに幼児理解を深め、具体的な教育内容を充実させ、「質の高い保育」を目指す。

## 3，評価項目の達成および取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み内容 | 自己評価 | 評価 |
|---|---|---|---|
| 保育内容について | 新教育課程による具体的な取り組み | ・新しい教育課程のもと、4年間の保育を学年、年度によって分けるのではなく「生活の自立期」「人とのかかわりを学ぶ期」「就学前前期」「就学前後期」の4期に分類することにより、より明確に幼児の成長の時期をとらえた指導、援助を行うことができた<br>・また、その指導が小学校進学への基盤作りへとつながった | A |
| | 教職員研修 | ・年間を通しての研修（下記参照）<br>・教員それぞれが自らの学びを深めるための研修に参加した<br>・さらなる積極的な参加が望まれる | B |
| 教育環境 | 園の安全、維持管理の整備 | ・学校薬剤師による照度・ダニ検査を定期的に行う<br>・アスレチックやブランコの総点検を行い、安全に使用できるようにメンテナンスを年3回行っている。<br>・園庭植栽と砂場の消毒（年2回） | A |
| 食育の環境と充実 | 衛生的な環境での給食づくり、安心・安全な食への取り組み | ・月1回の給食部との打ち合わせにより、安心・安全な食事を提供することが出来た<br>・年少組対象に食事参観を年1回行い、保護者に日 | A |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 頃の食事の様子を見てもらう機会を設け、給食はもちろん、家庭での食事の重要性についても伝えることができた | |
| 広報媒体 | HP やブログ、<br>インスタグラムでの<br>広報発信 | ・外部の客観的な意見も取り入れながら、園を知るきっかけとなる投稿や保育方針などを発信できた。<br>・フォロワー数が着実に増えてきており、保護者だけではなく一般の方の目に留まるようになってきた<br>・SNS を利用する保護者も多いため、さらに充実させる必要がある | B |
| 安全管理 | ・防災計画の作成<br>・危機管理マニュアルの作成<br>・教職員の安全対応能力の向上<br>・避難訓練<br>・防犯訓練 | ・年 5 回の避難訓練、年 1 回の防犯訓練を行い、中野消防署生活安全課防犯係の指導のもと、職員による不審者防犯訓練をおこなった<br>・年 1 回 AED 講習及び器具の点検を行う<br>・学園全体の総合避難訓練の実施<br>・玄関及び園舎内防犯カメラ設置<br>・警備員の配置　夜間、休日の機械警備の実施 | A |
| 預かり保育 | 安心と安全 | ・就労の有無にかかわらず預かり保育を行っている<br>・満 3 歳児からの預かりの実施が好評<br>・早朝預かりの利用者増加<br>・幼児の様子に合わせ都度、保護者と面談をし、親子ともに負担にならない利用を検討、実施している | B |
| 子育て支援 | 未就園児対象クラブ<br>0 歳から 3 歳の子育て広場の開室 | ・未就園児クラブへの参加が減少傾向にある中、0～3 歳の子育て広場への参加者が増加傾向にある<br>・大学の教室の他に幼稚園でも開室することで園を知ってもらう機会にもなっている | A |
| 保護者との連携<br>「母の会」活動 | 行事への保護者の参加協力<br>「宝仙祭」 | ・幼稚園母の会として「バザー」「子どもバザー」「宝仙食堂」「ゲームコーナー」を企画運営した。<br>・母の会の協力により大盛況だった | A |

## 4，自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 評価 | 理　由 |
|---|---|
| B | 新しい教育課程に基づき、保育のねらいや内容の検討を行い発達に見合った援助ができるように努めた。<br>日頃より、建学の精神、守るべき伝統と新しい教育内容を教職員で話し合いや研修を重ねながら研鑽に務めた。<br>子ども一人ひとりの特性を生かした保育、「感応の心」と「生きる力」を育むことを重点にした。<br>質の高い保育をめざしていくためには、教職員の努力のみならず、保護者の理解が不可欠であった。保護者と共に子どもの成長を促し、共に喜びあいながら信頼して頂く事が大切であり、昨年度に引き続き今後も継続していく。 |

## 5，自己評価の保護者評価結果(12 名)

| 評価 | 理　由 |
|---|---|
| B | ・満3歳児の預かり保育の開始により、共働き家庭にとって入園しやすい環境になったと感じる。<br>・インスタグラムや幼稚園ブログなどで子供の生き生きとした様子や、園の方針などを身近に感じることができている。<br>・宝仙の園章にあるよう「子ども・保護者・保育者」の 3 方がしっかりと手を組み、子正三角形の形を作り支えあえるよう、互いに尊重し育ちあう環境を作ってほしいと願います。<br>・在園家庭全ての自転車通園の許可、年長児のサイクルスルーの導入など、新しい取り組みには感謝しておりますが、保護者対応においてはもう少し寄り添う方向を検討いただきたい。<br>・安全、安心して通える園への取り組みを今後も期待します。 |

評価結果の表示方法

A:十分達成されている　B:達成されている　C:取り込まれているが、成果が十分ではない

D:取り込みが不十分であり、さらなる努力が必要である

## 6，今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---|---|
| 園児募集 | 少子化といえども募集人数の減退は否めない。質の高い保育の提供や、保育理念がバックボーンにあっても募集に繋がらない原因を引き続き究明していく必要がある。<br>外部コンサルタント会社と連携をしながら、0～3 歳の未就園児の保護者支援の強化や SNS の効果的な活用など、さらに新しい取り組みを行う。<br>寄り添う保護者対応を実施することで、在園の保護者の満足度を高め、進めたくなる幼稚園を目指す。 |

**【外部研修詳細】**

| 日付 | 研修名 | 場所 |
|---|---|---|
| 5/24・10/25・1/31 | GoGo５歳児！生活すべてで遊び学ぶ | 幼少年教育研究所 |
| 7/7.8 | 都私幼連　中堅教諭研修 | アルカディア市ヶ谷 |
| 8/20 | 第 16 回幼児教育実践学会 | 東京家政大学板橋キャンパス |
| 8/1 | 芸術と遊び創造協会<br>「子ども理解と発達支援の実際」 | ビジョンセンターグランデ浜松町 |
| 8 月 21 日 | 芸術教育学校　子どもへのより良い関わり<br>やさしい発達心理学 | WEB 研修 |
| 4/19・6/28・10/18・1/10 | 「ぼく・わたし」からやがてみんなへ<br>～３歳児の保育をおもしろがろう～ | 幼少年教育研究所 |

| | | |
|---|---|---|
| 2/20 | いまどきの保護者対応<br>～背景の理解と支援の本質～ | WEB 研修 |
| 3 月 27 日 | 東京仏法保育協会　教諭・保育士研修会 | 日蓮宗常圓寺ホール |

**【園内研修詳細】**

**研究テーマ　『子どもの「遊び」と「学力」』**

講師　　西脇二葉先生

こども教育宝仙大学准教授　専門分野：子ども学・保育学

文献　　岩村暢子『ぼっちな食卓』中央公論新社

映画　　『あの日のオルガン』

第 2 次大戦末期に保母（保育士）たちが幼い園児たちとともに集団で疎開し、東京大空襲の戦火を逃れた「疎開保育園」の実話を映画化したもの

◎中野区私立幼稚園研究部会による研修

| 回 | 日にち | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 5 月 13 日（火）<br>15:00～17:00 | ・講師自己紹介と講座の全体説明<br>・「個の追求」と「こどもの遊び」の関係<br>・『ぼっちな食卓』序文から考える「個」の追求の先にあるもの |
| 2 | 6 月 3 日（火）<br>15:00～17:00 | ・『ぼっちな食卓』第１部より<br>・①世界の保育から考える「学ぶ力」<br>今井むつこ著『学力喪失』参照<br>・グループ討論・まとめ |
| 3 | 7 月 8 日（火）<br>15:00～17:00 | ・『ぼっちな食卓』第２部より<br>・②世界の保育から考える「学ぶ力」<br>今井むつこ著『学力喪失』参照<br>・グループ討論・まとめ |
| 4 | 9 月 18 日（木）<br>15:00～17:00 | ・『ぼっちな食卓』第３部より<br>・保育者の使命について考える<br>映画『あの日のオルガン』から<br>・グループ討論・まとめ |
| 5 | 10 月 28 日（火）<br>15:00～17:00 | ・『ぼっちな食卓』第４部より<br>・①日本の保育から考える「学ぶ力」<br>「きのくにこどもの村」の実践<br>・グループ討論・まとめ |
| 6 | 11 月 27 日（木）<br>15:00～17:00 | ・『ぼっちな食卓』第５部より<br>・②日本の保育から考える「学ぶ力」<br>「きのくにこどもの村」の実践<br>・グループ討論・まとめ |
| 7 | 12 月 9 日（火） | ・『ぼっちな食卓』第６部より |

| | | |
|---|---|---|
| | 15:00～17:00 | ・印象に残った回についてグループ討議<br>・まとめ～現代の保育者の使命～ |
| | 12 月 2 日（火）<br>9:00～12:00 | ・『子どもの「遊び」と「学力」』についてのまとめ |
| 8 | 2 月 25 日（水）<br>15:00～17:00 | ●区幼研研究発表会にてまとめを発表 |